

観光学研究科 専門職学位課程 成果物等の評価基準

修士論文に相当するものとして、2年次にプロジェクト（プロフェッショナルライティングⅠ・Ⅱ、観光地域プロジェクトⅠ・Ⅱ）を実施し、その成果物として完了報告書、プロジェクト報告書、実践論文を作成する。成果物の作成を主に実施するプロフェッショナルライティングⅡの評価にあたっては、授業の準備状況・発言等の参加状況（40%）、完成した報告書のプレゼンテーション内容（60%）を目安のうえ、下記項目等を参考にして総合評価し、合否判定を行う。

審査の項目	DPとの紐づけ
計画性	DP1、DP2
実践力	DP2、DP3、DP4
展開可能性の検証	DP2、DP3
影響力	DP2、DP3、DP4
表現・表記の明快さ	DP3、DP4

観光学研究科専門職学位課程 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

和歌山大学の目的及び使命並びに観光学研究科の目的に基づき、専門職学位課程の専門教育を通して、次の目標に到達していると認められる者に観光地域マネジメント修士（専門職）の学位を授与する。

DP1	<p><b>1. 観光倫理と持続可能性の理解</b></p> <p>・観光地の地域課題および地球規模の社会課題に対し観光が果たしうる役割について、観光倫理と持続可能性の視座を通じた深い理解を有している。</p>
DP2	<p><b>2. 地域価値の創造実現能力</b></p> <p>・地域が有する顕在的・潜在的な観光資源を基礎として、地域の社会的価値を創造し具現化する能力を備えている。</p>
DP3	<p><b>3. 地域社会との協働的關係性構築能力</b></p> <p>・自立し持続可能な観光地域の実現に向けた共通目標設定のため、地域社会との建設的なコミュニケーションに基づく協働的關係性の構築能力を備えている。</p>
DP4	<p><b>4. データ分析に基づく戦略的意思決定能力</b></p> <p>・観光地域マネジメントに必要な情報効率的に収集整理した上で、定量的・定性的手法によるデータ分析を実施し、戦略的意思決定を先導する能力を備えている。</p>